

2024年度大阪府訪問看護実践研修 教育ステーション事業 事業実績報告書



堺ブロック

シンシア訪問看護ステーション

梅川 有香子

目標

- ・地域の弱みを見出し、必要な情報を提供する。
- ・それぞれの経験を共有し、スキルアップする。
- ・電話相談、コンサルにおいて地域の専門・認定看護師の強みを生かす。

研修事業 集合研修1

開催日 8月17日(土)

開催場所 泉州看護専門学校

テーマ

人生会議(ACP)支援実践人材育成研修

参加者 42人



2024年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
「2024年度大阪府訪問看護ステーション協会「人生会議」相談対応支援事業」
一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会
堺ブロック教育ステーション
シンシア訪問看護ステーション

人生会議 (ACP) (アドバンス・ケア・プランニング) の
実践に必要な基本的概念や知識・方法がわかる

人生会議 (ACP) 支援実践 人材育成研修

2024.08.17 Sat
14:00～16:40

参加費
無料

地域の医療・介護を支える業務 お疲れ様です。
認知症や一人暮らしの人が増加する中で、病状が
悪化した時に本人の意思が確認できておらず困った
経験がおりではないでしょうか？
講義とロールプレイで患者・利用者さんの価値観に
沿ったケア実践を一緒に学びましょう！

基調講演

講師：濱吉 美穂氏
佛教大学 保健医療技術学部
看護学科 老年看護領域
(動画)



結果

広報は、LINEや、MCSを利用し行った。しかし、中々集まらず、同様の内容でないことも再度説明し広報した。

進行においては、画面を共有したことで参加者にも時間が意識しやすくなったと考えられる。

今回は、多職種に参加でケアマネジャーや、病院看護師、セラピストの参加もあった。そのため、それぞれのアセスメントを聞くことが出来た。



研修事業 集合研修2

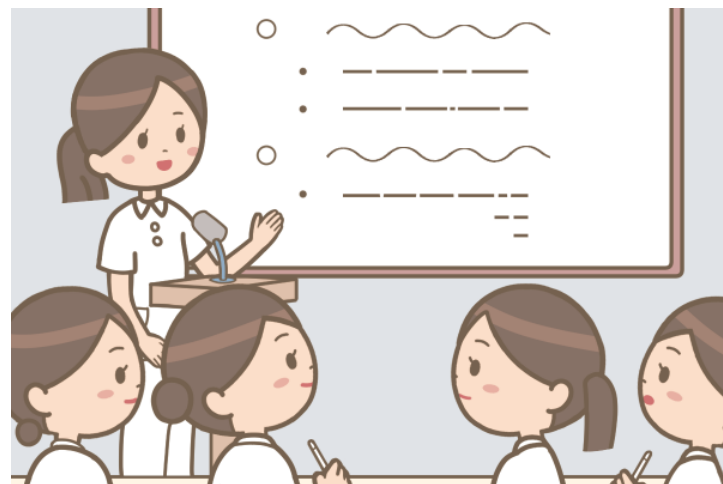
開催日 12月13日(金)

開催場所 耳原総合病院

テーマ

堺ブロック事例検討会

目標：30人 実参加：24人



2024年大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

頑張ったことの共有から始めよう！

第1報

堺ブロック事例検討会

12/13 金曜

18:00~19:30

【受付 17:30~】

場所 みみはらホール

日々たくさんの学び、気づきがありますが、業務多忙な中で「まとめる」という作業はなかなか難しいのではないのでしょうか？

今回、堺ブロックで事例検討に取り組み、学び合いたいと思い研修を企画しました。皆さまのご参加をお願いいたします。

事例発表者

- ①訪問看護師から見た腹膜透析の連携について
N-art訪問看護ステーション 河本 渉さん
- ②在宅における高齢者の生活についての関わり(仮題)
ソフィアメディ訪問看護ステーション堺中央
志賀 桂子さん
- ③統合失調症の困難事例について(仮題)
訪問看護ステーション 和音 柴 優也さん



堺ブロック 教育ステーション
シンシア訪問看護ステーション

お問合せは
シンシア訪問看護ステーション
梅川 有香子
TEL:080-5708-7723

結果

3ステーションからの事例発表があった。各ステーションの事例から、利用者の思いに寄り添い、訪問看護師として出来ることを見出し関わる姿勢が大切だと感じた。

また、利用者の状況によっては、同スタッフでの対応の検討や、本人との向き合う位置なども考えて話すなどの工夫も必要だと感じた。



研修事業 オンライン研修1

開催日 10月11日(金)

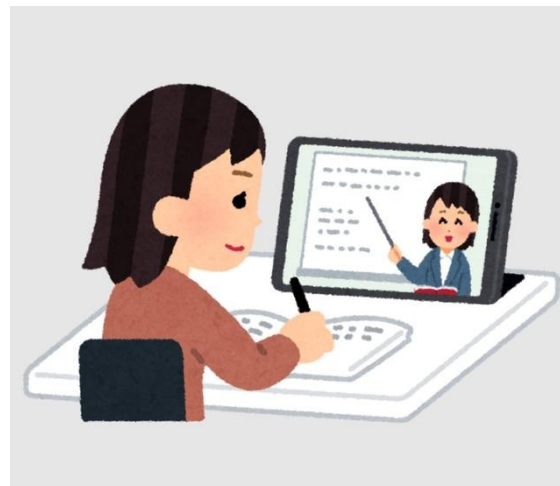
開催場所 ZOOM

テーマ

訪問看護師が知っておくべき

カスタマーハラスメント

目標人数 30人 実参加数 22人



2024年度大阪府訪問看護実践研修事業教育ステーション事業

訪問看護師が、 知っておくべき カスタマーハラスメント

日々の支援の中で、利用者さんの対応でこまったことはありませんか？
寄り添う姿勢は大切だけど、その対応でいいのかなと思うことはありませんか？
在宅看護における暴力・ハラスメント対策に取り組まれている武 ユカリ先生
のお話を聞き 是非、一緒に学びましょう！！

対象者：訪問看護に従事する方、看護師、セラピスト

講師

森ノ宮医療大学

教授 武 ユカリ先生

10/11(金)
18:00~
19:30

こちらのQRコードを
読み取ってお申し込みください



<申し込み/お問い合わせ>

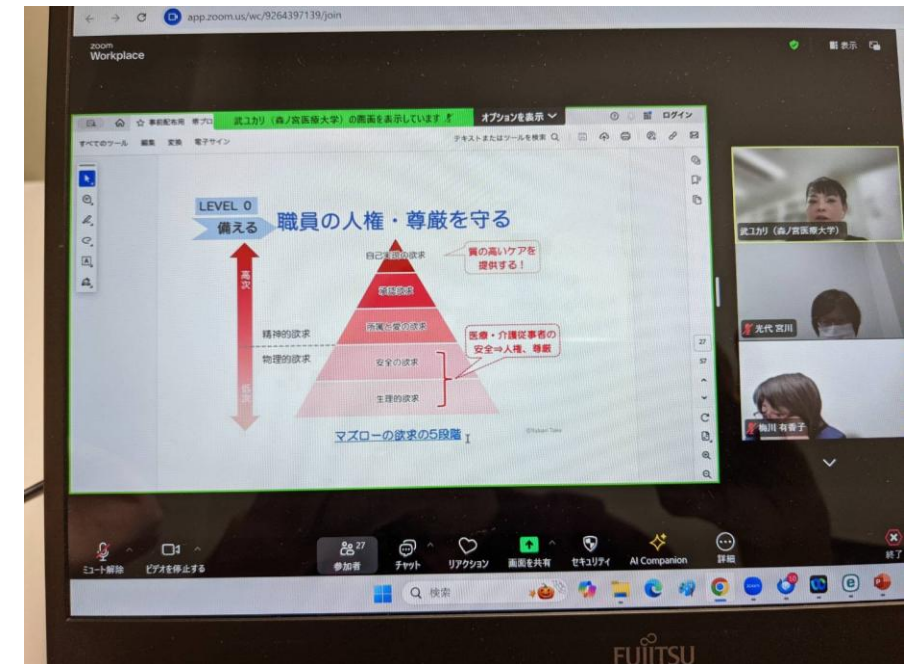
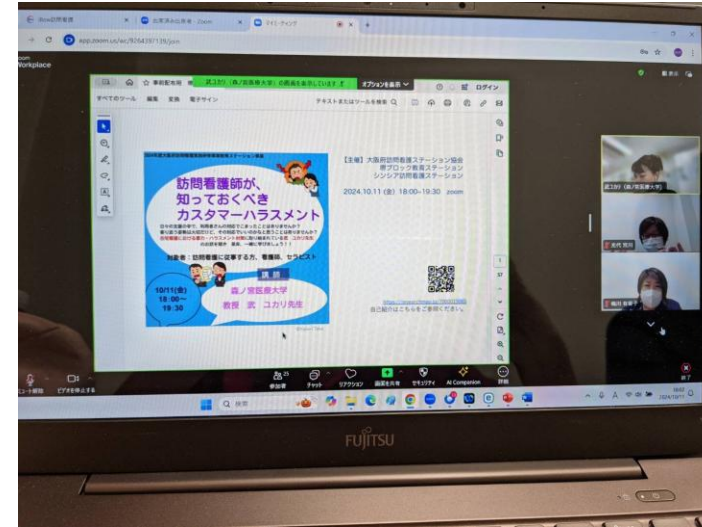
シンシア訪問看護ステーション

担当者：梅川 有香子

電話：072-260-1233

結果

業務の中で、利用者様＝お客様として支援者が我慢していることも多かった。しかし、適切な内容での対応を行うこと、危害があると予測されるときは逃げてもよいのだと知ることが出来た。また3つのカエルとして対応時に人、場所、時間を変える必要性を学ぶことが出来た。



府民への相談支援事業

5月19日日曜日、浜寺公園にてローズカーニバルが開催されました。大阪府訪問看護ステーション協会堺ブロックとしてブースをお借りし健康相談を行いました。

雨天ではあったが、チラシの配布も行い、立ち寄ってくださった方には体調が悪化した時には、訪問看護でできることを説明することが出来た。堺ブロックの中でも有効が深められたのではないかと感じている。



訪問看護体験研修事業 看護業務

対象：訪問看護に関心のある専門職や学生

目的：介護保険、医療保険での訪問看護の実際を知る。また多職種連携の大切さを学ぶ。

内容：午前オリエンテーション、ミーティングに参加、同行訪問2～3件
午後同行訪問2～3件、報告書作成

目標：5件 実績：3件

体験研修事業を通しての感想

・1件は、介護ソフトの利用方法についてであった。
同じソフトを利用しているところで返戻が多いものについてのレクチャーをしてもらったことで
分かりやすかったとの感想が聞かれた。

・他2件は、新規立ち上げの看護師さんの体験を行った。流れや支援方法、内容など病院と違い在宅での個々の環境で行う違いを学んでもらうことが出来た。参加者からも、内服セットの方法が利用者や在宅環境の違いで管理方法がかわることを学べたとの感想を聞くことが出来た。

地域の中で、協力体制を持つことにより、関係性も持ちやすく連携と取りやすい環境になっていくと感じている。

管理業務

対象：訪問看護ステーション管理者

目的：訪問看護の制度と機能を理解する。

内容：午前 オリエンテーション、訪問1件
午後 訪問2件と報告書、計画書の説明など

目標 1件 実績 0件

感想：今年度の研修対象はおられなかった。引き続き教育ステーションでの研修を継続し管理者の業務をレクチャーする。

電話FAX相談Q & A事業



【受付曜日や時間】 平日9時～17時

【広報方法、返答方法】 電話にて、当日または3日以内に返答を行った。

【担当者】 事務員、または梅川

広報は、MCS、郵送にてチラシの配布、ブロック会にて行った。

目標：13 実績：34

内容は、算定方法、特指示扱い、指示書についてが多かった。新改訂については、精神の同一建物減算、専門看護師の算定であった。

新規のステーションは算定方法などの問い合わせが多かった。

以前からあるステーションでも指示書や特指示の取り扱いなどへの相談も見受けられた。意外に曖昧なままレセプトしているステーションがおられることに気づいた。電話相談を通して互いに学びを深めて気切な運営につながれたらと思う。

コンサルテーション事業

【広報方法や担当者】 広報はチラシの配布、ブロック会での呼びかけで行った。担当は協力ステーションに依頼し対応した。

①電話サポート

目標：2 実績：2

1 件は認知症看護認定看護師、1 件は精神訪問看護を主に行っているステーションに依頼した。

②対面サポート

目標1 実績：3

1 件は創処置について、皮膚排泄ケア認定看護師、1 件は管理運営方法について訪問看護認定看護師、1 件はレセプト業務において医療事務にて対応、依頼した。

コンサルテーション事業全体を通しての気づき

同ブロック内で困ったときに、より専門性の高い知識を専門看護師、認定看護師のアドバイスをもらうことにより利用者の状態が改善しやすい状況になっている。

様々な局面からのアドバイスを受けるためには、このシステムはもっと活用されるべきだと感じている。

今回も数件は、専門、認定看護師の介入があった。そのことで利用者のQOLの向上に繋がっている。

今後も生かしていきたいと感じた。

地域における協力体制の気づき

教育ステーションにおける活動のすべてにおいて、協力ステーションの存在は不可欠だと感じている。

自ステーションのみでは専門的な知識も低く、業務上困難なことも多いためである。また、専門分野ならではの対応方法や、知識を地域で協力し対応できることにより、地域での質の向上に繋がっていると考える。

また研修においても、地域の問題や学びの幅を協力ステーションから意見を聞くことでより深い研修に繋がれたと感じている。今後も地域での協力体制をとり、地域で質の向上に努めていきたい。

設定した目標の評価

①地域の弱みを見出し、必要な情報を提供する。

協力ステーションよりアドバイスをもらい、必要な知識の向上にむけ研修を行うことが出来た。また集合研修では各管理者で顔を合わす機会にもなり、横のつながりも出来、連携をとりやすくなり地域の活性化につながったと感じる。

②それぞれの経験を共有しスキルアップする。

事例検討を行うことで他ステーションの取り組みを知り、自ステーションでも振り返り学びを深めることが出来た。またコンサルテーションにおいても地域での専門分野において学びを深めることが出来た。

③電話相談、コンサルテーションにおいて地域の専門・認定看護師の強みを生かす。

コンサルテーションにおいて知識の共有をすることが出来た。今後も電話相談なども内容によっては専門知識を拝借し学びを深めたい。

教育ステーション事業全体の効果と次年度の課題について

3年間教育ステーションを担当させていただいたことにより、地域のステーションとの繋がりを多く持つことが出来た。

繋がりが増えたことにより、他管理者とも接することも増え自ステーションの活性化にも繋がった。

また電話相談を受けることにより、再度学びなおす機会にもなった。

地域の中でも、教育ステーションの存在をアピールし、活用してもらうことが多くなったと感じた。

研修においてはまだ参加するステーションが限られているため、共に学び、質の向上、知識の深さをもって地域の活性化につなげていければと感じている。